

# お世話になりました



前教育長 高平 秀三

猛暑の夏も、彼岸をさかいに、朝晩の涼しさですっかり秋を感じる候となりました。  
高山の街道筋に倒れんばかりに実っていた稲もすっかり刈り取られ収穫の喜びが伝わってくる思いです。

私こと、この9月30日をもって、高山村教育委員の任期8年（内、教育長を6年6カ月）を大過なく終えることが出来ました。それも村民並びに関係各位のご指導とお力添えのおかげと改めて感謝申し上げます。

思い出せば、私と高山村との関わりは、今から25〜26年前に派遣社会教育主事として勤務したのが始まりで、その3年間の自分なりの充実が、教職を定年退職から引き続き、社会教育指導員・高山幼稚園長と次々に要職を拝命して自分自身ではこの上ない充実した年月を過ごす事が出来ました。本当に高山村の人達に対して心から「ありがとう」の気持ちでいっぱいです。

都合、16年6カ月の高山村との関わりの中で、多くの方々から「温かく迎え入れていただき、育ててもらえた」この事が、職種が変わっても、約半世紀の間教育に関わっていた者の一人として最後の締めくくりの機会を与えて頂いたこと重ねて感謝を申し上げます。

自分なりに精一杯でしたが、村民各位の期待に沿えるものであったかどうか……。さて、学校教育ですが、近年の様子を見ると、教育環境整備に配慮いただいた事は関係者の一人として大変ありがたく気持ちの引き締まる思いでした。

# よろしくお願ひします



教育長 高橋 直幸

10月1日付けをもちまして教育長という大役を仰せつかりました高橋直幸です。よろしくご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

緑あふれる高山村での勤務は2度目となります。昭和51年度から54年度までの4年間の勤務経験は、教師生活4年目を迎えることになった当時の私にとって忘れられない貴重なものとなりました。職員室の中に満ちていた授業づくりの熱気、子どもと向き合う先輩方の姿勢など、一つ一つの出来事や子どもとの出会いからたくさんを学び、何よりも大切な宝物を手に入れることができたと思っています。

このように教師としての姿勢を学ばせていただいた高山村に、高山村教育委員会教育長として迎えていただき心から感謝申し上げます。しかしながらなにも浅学非才の身であり、皆様方からのご指導とご助言等をいただきながら本村の教育の振興と充実、発展に努め、この重責を果たしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

本村では、荒木村長の基本的な考え方である「たがやそう高山村」をふまえ、「いま、あるものを大切にして、更に深め・掘り起こしていく」と捉えて、教育の場面においても「村づくりは、人づくりから人づくりは、教育から」という考え方に立ち、教育に携わる者として誇りと同時に責任の重大さを自覚しなければならぬと考えています。

こうしたことから、高山村教育行政方針である「明るく、かしく、たくましく」を大目標に、基本理念として「高い知性、豊かな情操と徳性、優れた創造力を備え、社会の変化に的確に対応できる、心身ともにたくましい人間の育成」を目指して教育行政を推進してまいりたいと考えます。このために、郷土を愛する心と社会連帯意識を培い、正しい国民的自覚と国際協調の精神を養い、自然を愛し文化や伝統を尊重する感

耐震工事に始まって教育機器の導入と活用に向けて研修の機会を得て、より効果的に子ども達の為になるかが課題となり、日々研鑽を積んでいるところです。

新聞・テレビ等のマスメディアから途切れることのない負の報道には、学校現場にとって他人事ではない緊張感を持ち、速め早めの対応で大方はクリアー出来ました。

幼児教育についても、環境整備の面では、最近の幼児にあつた施設の改修や園庭の一部芝生化についても試行錯誤を繰り返しながら実施出来ました。

また、少人数学級指導により自信と力をつけた子ども達が、スポーツやその他各方面での活躍で着実に証明してくれています。

また、他に類を見ない中学生の海外派遣事業につきましては、事業実施後13年の積み重ねは、随所にその成果が表れてきました。

高山中学校を卒業後、特に英語に興味を持ち、その進路を選択したとの情報に接し、村の意図する成果の一端を感じたところです。

中学生による自転車登校の実践も自主自立の精神を育成するのには不可欠の要素だと確信しています。

そして、義務教育の締めくくりとなる自分の希望する方向を目指して進路選択が出来ることを目指す。

社会教育に目を向けると、村民各位が生きがいと誇りをもって生活出来ることを念頭に、事業を実施する事として、文化協会・体育協会・青少年の健全育成等、研修・発表・参加を促し、自己研鑽の機会の提供をすること。

以上、教育に関わる業務の一端ですが、「子ども達には自立の出来る大人になる事」「村民には、高山村に住んで良かった」の気持ちがいづまでも持ち続けられるように条件整備をしてきたつもりです。

以上は、村当局のご指導ご協力を得て実施してきた事の一部ですが、なによりもこの様な要職を任されて多くのの方々より温かく見守られて取り組めたことに重ねて心より感謝申し上げます。

後任として勤務してくださる高橋教育長につきましても温かく見守っていただく事をお願い申し上げます。

最後になりましたが、高山村の益々のご発展と、村民各位のご多幸を祈念して退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

性を育み、知的生産の活性化を図ることにより「誰もが住んでいて良かったと思う村、誰もが住みたくなる村」を目指し、一步一步着実に推進してまいります。

学校教育については、基礎・基本的学力の定着と進路指導の充実、道徳教育と生徒指導の充実を努めます。さらに、幼稚園、小・中学校がそれぞれ一園一校という本村の特色・利点を活かし、保育所も加えた一貫教育の推進を図ります。

青少年教育では、青少年の社会活動の促進、地域ぐるみの村民運動の推進と非行防止対策の充実、生涯学習・社会教育では学習機会の充実と情報の提供、芸術文化活動の推進、生涯スポーツ活動の推進など、これらを柱として学習・研修を深め、あくまでも村民中心で参加型の事業推進を図りたいと考えています。また、県立天文台については、他の市町村にはない利点を最大限活かしながら、村民各位の学習機会として提供したいと考えています。

これからも皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。

## 教育委員が替わりました

本年9月30日を以て、教育長の

高平秀三さんと教育委員の鈴木正晴さんが任期満了により退任されました。高平秀三さんは、平成16年10月に教育委員に就任され、平成18年4月からは教育長として村の教育行政にご尽力くださいました。鈴木正晴さんは、平成20年10月から保護者を代表する教育委員として就任され村の教育行政にご尽力くださいました。

新教育委員には、9月定例議会において任命同意を得て、高橋直幸さん、稲川俊昭さんがそれぞれ任命されました。

また、10月1日に開催された教育委員会で、委員長に関亜刀美さん、委員長職務代行者に大木のり子さん、がそれぞれ再任され、教

育長に高橋直幸さんが就任されました。委員会の構成は次のとおりです。

- 委員長 関 亜刀美
- 職務代行者 大木のり子
- 委員 大谷 政代
- 委員 稲川 俊昭
- 教育長 高橋 直幸

新教育長 高橋直幸さん



新委員 稲川俊昭さん

